なめがた大使 小林光恵さん 書きおろしエッセイ

# 五感でキャッチ！なめがた漫遊記 第10回

## 春は水たまり

三月のように暖かく晴れた一月下旬の昼下がり。霞ヶ浦大橋から見える湖面のあちこちが銀色に輝いていた。穏やかだけれど存分な感じに。いいあんばいの陽ざしを浴びて気持ちいいのかも、と思ってしまうほどきらきらきらと。

それで、今年はあのときみたいな水たまりに出会えるかも、と期待が高まった私である。

高校の何年生かのある日のことだった。たぶん春休み中。外の乾燥した空気がほこりっぽかったのは昨日までのこと。夜中から未明まで降った雨のおかげで、外は深呼吸をしたくなるようなおいしい空気で満ちている。晴れてぽかぽか陽気の下を歩き出すと、地面にできた水たまりらに出会う。大きさや形はさまざまだが、洗面器くらいのが多い。立ち止まりそれらを見ていると、陽ざしのさし方の変化によって水面が急に輝きだす。派手な化学反応でも起こすのでは？と思うほどやたらきらきらと。見続けていると、それら水たまりが順に鳥の翼に変化して、軽やかに飛び立っていくイメージが頭に浮かんだ。片翼でもみんな平気に飛んで行った。そんな光景をどこかで読んだか、聞いたか、その影響だと思われる。

以来、「春はあけぼの」もいいけど、私は「春は水たまり」かな、と思うようになった。

しかし、その後、アスファルトやコンクリートで覆われた場所が多くなったからだろうか、いや、私自身が、水たまりのことをとんと忘れていたような気もするが、思えば近年、あのときのような水たまりに出会っていない。

とにかく、今年は、春の、雨後の晴天の日に行方のどちらかを散歩してみたい。親玉級の水たまりとも言える霞ケ浦の湖面があんなにきらきらしていたのは出会う予兆かもしれないから。

さて、どこを歩こうか。

**小林 光恵さん**

そういえば、浅い小川を「みーこ」と言いますよね。言葉の由来を知りたいです。

行方市出身。つくば市二の宮在住。
水がたまったままでは蚊の発生の心配がありますから、天日によって蒸発してしまうタイプの水たまりがいいですね。

市公式ホームページ内で「行方帰省メシ」連載中。
サイトはこちらから▶

# 地域おこし協力隊 連載コラム⑩

一昨年の11月に地域おこし協力隊に着任して、早いもので1年以上の月日が流れました。現在、私は麻生地区のイチゴ農家の方の下で農業研修をさせていただいております。12月から収穫・出荷が始まり、忙しくなってきました。

繁忙期の中、年末年始はお休みをいただいたついでに、地元の岩手県をはじめ、青森県や宮城県の産地を訪問し、イチゴを購入したり、現地の農家の方からイチゴ栽培や農業経営に関することをお伺いしました。青森県でも、雪が少なく比較的温暖な地域は、茨城県と同じようなパイプハウスでイチゴを生産していることに少し驚きました。

この機会に、たくさんの品種も口にすることができましたが、麻生いちご部会でも生産されている「とちおとめ」は、バランスがよく、おいしいということに改めて気づかされました。（お世話になっている農家の方と試食会を実施）

新規就農後は、収穫期に他の産地を訪問することが難しくなるので、貴重な体験させていただきました。

①

②

③

④

年末年始に訪問した施設
①岩手県一関市・唐沢いちご農園
②岩手県八幡平市・3S VILLAGE 八幡平
③岩手県八幡平市・彩花園
④宮城県山元町・MIGAKI FARM

▲佐藤 晶 隊員

【令和５年11月１日～現職】
新規就農を目指し農業に従事するほか、市の農業を盛り上げるためのＰＲ活動等を行う。マルシェ等の企画提案も実施。